



スズメバチに注意



英彦山青年の家 研修課

スズメバチに刺される一番危険な時期は、蜂の巣が最も発達し、蜂の数が多くなる7～10月（ピーク8月～9月）と言われています。英彦山でもスズメバチがいます。

野外での活動を行う際は、下記のことにご注意してください。

「カチカチ」という音は、襲撃前の最後通告の合図！
すぐに離れましょう！

スズメバチから身を守る方法

- 服装に注意・・・スズメバチは、黒く動くものに対して攻撃する習性があります。
→白色系の服装（長袖・長ズボン）で必ず帽子をかぶりましょう！！
- 香りに注意・・・香水・整髪料などのなかには、スズメバチを興奮させるものがあります。
→香水・整髪料はひかえましょう！！
- ハチを刺激しない・・・手で払わずに、速やかにその場を離れてください。
→ハチに遭遇したら、騒がず体勢を低くしたまま、後ろにゆっくり下がらしましょう！！

スズメバチに刺されたら

スズメバチに刺されると命に関わる強いショック症状をおこす可能性があります！
速やかにその場を離れ、早急に下記の処置をおこなってください。

- ① 針が残っていればすぐに抜く。
- ② 刺傷部のまわりを水で洗い流す。
- ③ 濡れタオル、氷などで冷却し、安静にする。
- ④ 刺傷部の軽い腫れや赤み程度であれば、処置後、団体に病院へ連れて行く。

ハチの毒は水に溶けるので、刺された部分を指で強くつまむか、ポイズンリムーバーで毒を絞りだしながら水で洗い流してください。
口で吸い出さないように注意！

次の症状が見られたら、すぐに救急車を要請してください！

《 アナフィラキシーショック 》

- 意識障害
- 呼吸困難
- 血圧低下（脈が弱い）

※命の危険があります！



要注意のアナフィラキシー症状・・・ショック状態へ移行する可能性があります。

じんましん 蕁麻疹・浮腫（むくみ）・嘔吐・下痢・腹痛・めまい・脱力感・しびれ・冷や汗

※過去にスズメバチに刺されたことがある人、アレルギー体質の人は、1時間以内（早ければ10分以内）に上記の症状が出現することが多いです。

※このような症状が見られた場合、自力歩行させずに早急に医療機関へ搬送してください。

ハチに刺されたときは、青年の家職員に至急お知らせください。